

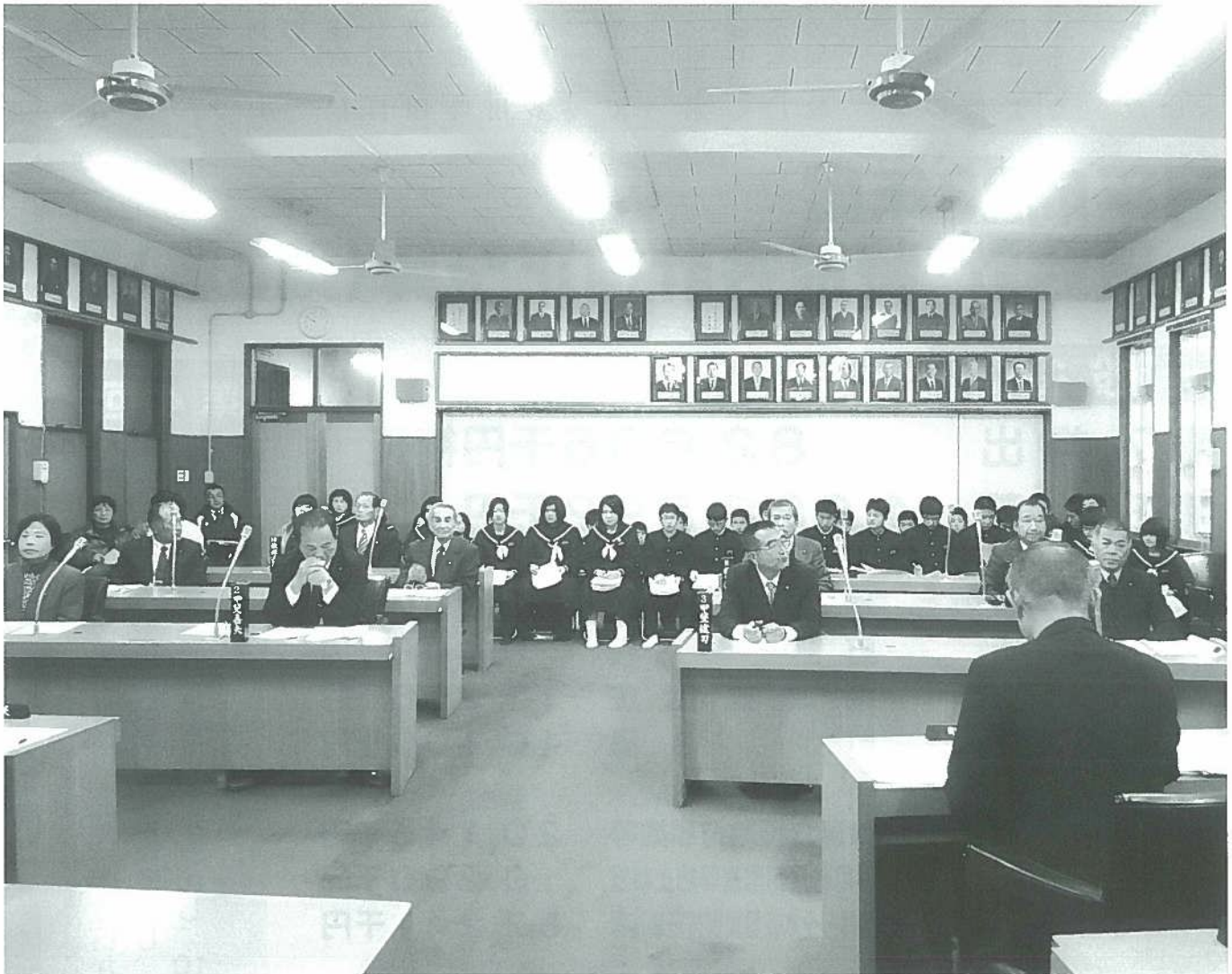
ひまけい

No.8

2012.1.16

☉ 議会だより

発行編集：日之影町議会報編集委員会



次世代を担う小・中学生

議長挨拶・平成23年一般会計、特別会計補正予算	p 2
条例制定・意見書提出・町道・用水路の整備	p 3
総務文教・経済建設常任委員会所管事務調査報告・第2回臨時議会	p 4
一般質問	p 4~p 7

議長挨拶

甲斐徳仁



謹んで新春のお慶びを申し上げます。
町民の皆様方におかれましては、穏やかに新年を迎えの事と存じます。

年頭に当たり、議会を代表致しましてご挨拶を申し上げますとともに、日頃より町議会に對しましてのご理解、ご協力を賜り心からお礼申し上げます。振り返りますと、昨年は災害の多い年でもありました。想定外が通用しない地球規模での自然環境の変化に、人類は多くの犠牲を受け、そして多くの事も学び、一人一人の役割が人を支えて、昨年の世相を表わす絆で締められた年でもありました。

国内に目を向けますと、政権交代して二年が過ぎ、与野党は相変わらずの野次と批判を繰り返し、最重要法案は棚上げや継続審議と、国民が政治に求めた政権交代とはほど遠く、誰のための何の政治かさえ疑問でもあります。

政局が混乱し国民生活も更に厳しい中、昨年本町は60周年の節目でした。私達は、過去と未来の今日を生きながら同時に使命も担っています。世代から世代へと先人の意志を引き継ぎ、創意工夫で町の発展に貢献する事が私達の命題でもあります。

結びに、町民の皆様方の限らない幸福と、町政発展を重ねてご祈念申し上げ年頭のご挨拶と致します。

■平成23年度 一般会計・特別会計補正予算(第3号)■

一般会計

歳入歳出 82,606千円補正
補正後の額 4,688,892千円

歳入の主なもの

地方交付税	40,000千円
町税	9,406千円
国県支出金	17,258千円
町債	10,100千円

歳出の主なもの

障害介護給付事業等	20,145千円
特用林産物獣害等防止事業	10,290千円
農林・土木施設災害復旧事業等	37,241千円

◆特別会計◆

(単位：千円)

特別会計	歳入歳出補正額	補正後の額
国保事業会計	6,429	807,508
簡水事業会計	14	73,681
介護保険会計	39,030	623,293

※介護保険会計の補正は、自宅サービス、施設入所者の増加等に伴う補正(増)です。

第4回 定例会

第4回定例会は、会期12月6日から13日まで開催され、議案13件、議員発議2件を慎重審議し、原案どおり可決した。一般質問には、6名が登壇し、10項目について、町政を質した。

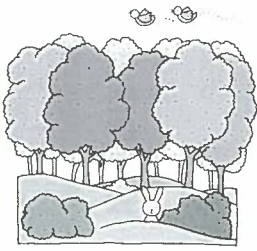
「日之影町景観条例の制定について」

本条例は、平成16年に制定された景観法の施行に関し、必要な事項を定めるもの。

制定にあたり、町民、事業者、各種団体へ十分な説明や広報による周知徹底と意見の聴取により、理解と意識の醸成を図ることが重要である。

また、景観審議会には、町内各界、各層の意見を反映させるため、本町の将来を担う若年層の委員も必要である。

本条例の制定は、本町の豊かな自然と山林文化を守り育てる厳しさの中で、九州初の指定を受けた森林セラピー基地の振興と、町民意識の高揚住民福祉の向上に寄与するものと考え、委員会において可決すべきものと決定した。



「宮崎県北部広域行政事務組合規約の変更について」

広域行政施策が定住自立圏構想に移行したため、「ふるさと市町村圏推進要綱」が廃止されたことにより、県の出資金一億円を返還するため規約が変更された。

「森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める意見書」

我が国の森林は、まさに今、戦後造成してきた人工林が利用期を迎えつつあり、この資源を活用して森林・林業の再生を図ることが、疲弊した地方の再生を図り、持続可能な循環型社会を構築する鍵と言える。

国においては、森林・林業の再生を図り、東日本大震災の被災地の復興を全国規模で進めることができるよう、特

段の措置を講じるよう強く要望する。

「葉たばこ農家の支援を求める意見書」

既に国内の租税物品の中でも、最高の税率になっている「たばこ」という特定の商品にのみ、これ以上、多大な税負担を強いることは、税の公平性確保の観点から、大きな不公平感があると言わざるを得ない。

政府においては、たばこ税の引き上げだけではなく、現状を十分に考慮し、廃作する葉たばこ農家については、経営転換の支援や、農地の有効活用を促進すること共に、栽培を継続する葉たばこ農家が、安心して生産に取り組めるよう、特段の支援を強く要望する。

日之影町道路線の廃止及び認定

東深角南線

廃止延長2, 159・8m
認定延長1, 560・8m

竹の原下線

廃止延長 786・3m
認定延長 261・0m



東深角南線



竹の原下線

日之影町営土地改良事業の施行について

ため池等整備事業として用排水路の整備を行なう

中村地区	延長	768・0m
上顔地区	延長	538・0m

所管事務調査報告

■総務文教常任委員会

平成23年10月5日
○福岡県久留米市 社会福祉法人「寺子屋工房」

この事業所の特徴は、地元企業が社会貢献の観点から参画し、寺子屋工房の協賛により、国の「IP活用事業」の指定を受け、3年間の試行事業として、主に高齢障害者の見守り、安否の確認、買い物支援等であり、利用者のニーズが非常に高いので、施行後も支援は必須であろうとの事である。

8月1日にスタートした本町の「のぞみ工房」は、利用者実数13〜15人であり、作業は、農作業や外部から要請のある作業を請け負っている。「寺子屋工房」に見るIP活用事業は、光ファイバーの整備された本町においても、将来検討の余地はある。この事業の最終目標は、「就労の自立」であるが現実には厳しい環境、実態である。した

がって、地域社会と融合し、障害者の人権が守られながら忍耐強い事業の推進が望まれる。

■経済建設常任委員会

平成23年11月7〜8日
○福岡県篠栗町(森林セラピー基地)

約170年の歴史と伝統を持つ篠栗四国のお遍路さんの町で、年間100万人以上の来訪者があり、平成21年3月に森林セラピー基地の認定を受ける。オープン後、マスコミの紹介により、町の知名度がアップし、医学、経済面の動向が期待されている。本町においては、特性を生かした独自企画、特産品等の開発により町民の所得向上と雇用の創出を図るべきと考える。

○佐賀県唐津市中村牧場

経営規模は、肥育牛1,924頭、繁殖牛188頭。家族経営協定締結による5人とパート従業員5人で構成。今年、4月から9月までに531頭を導入し、県外か

らは本県のみであり、ほとんど雌牛で血統買い中心である。本町は、肥育牛生産者と綿密な連携のもと、関係者一丸となり情報交換することにより更なる技術の向上、所得拡大が図られると考える。今後口蹄疫にめげず、宮崎県・西臼杵郡の牛を全国に発信するため、全国和牛能力共進会において再び上位入賞することを願うものである。

第2回臨時会 (平成23年11月28日)

「日之影町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について」

今回の改正は、平成23年9月30日になされた人事院勧告に準じて、職員の給料月額を平均0.23%引き下げ、今年4月から11月までに支給された給与及び期末勤勉手当に係る当該差額を12月支給分の期末手当より減額するもので、改正に伴い関係条例を改正することで、原案どおり可決。

一般質問

「町民の就労対策と所得向上は」

飯干 静香



昨年12月議会の一般質問から1丁度一年が経過、その後の状況を問う。

問 宮崎部品の閉鎖によって、一挙に沢山の失業者が増えた町内の就労希望者数は。

町長 年齢に関係なく元気でいれば、生涯現役で働き

たい町民が、ほとんどなので具体的には把握してない。就労支援・情報提供等は随時行なっており、商工会及び関係機関とも連携し、雇用確保に努めている。

問 延岡市のクレーパークの本町からの就労者数は、また今後の見通しは。

町長 現在までの就労者はいない。

今後5年間で二社500名の雇用計画があると聞いているが現状は厳しい状況である。機会あるごとに延岡市及び関係者に働きかけている。

問 今後、町民の就労対策と所得向上策は。

町長 事業主がいて雇用は生まれる。

農林業・商工観光・関係機関と連携を密にししながら、事業が出来る環境づくりはしていく。

町の基幹産業は第1次産業である。農林業の活力を引き出すための施策と共に、第2・第3次産業である商工業の発展、サービス業の参入、また第6次産業の育成を図る施策を行うことで、雇用の拡大と所得向上に努めていく。

問 宮崎部品跡地活用を行うため町外からの企業立地が無理ならば、現有基金を

「定住人口増対策は」

佐保 満 男



崎の原山村定住住宅

問 山村定住住宅の現状について。

町長 定住住宅は、崎の原・上下顔地区に合わせ21戸建設、幼児を含む高校生までの子供が延べ33名その他43名で計76名が世帯人員である。

問 出来るだけ譲渡すべきだ。

町長 不動産鑑定委託料を一般会計に計上しているが、要望が上がっていない。要望に対応出来るようにしていく。

問 建設当初から数戸に雨漏りが発生していたが。

町長 雨漏り箇所の修繕は、行なってきた。近年は、大型台風の直撃も無いが随時対応していく。

問 日之影町土地開発基金の運用と併わせて住宅地の整備について。

町長 中山間地域の過疎対策として、住宅団地の整備が有効な施策として2期目の

公約に掲げ重点項目として取り組んでいるところである。この基金では、土地の取得には、運用出来るが住宅地の整備には使えない。P.F.方式等も含め検討し計画的に進めていきたい。

問 定住自立圏構想に伴なう、延岡市クレーパーク就労の場連携について。

町長 延岡市の企業誘致も厳しい様であるが、連携を

更に図りながら、本町にも優先的に情報の提供を受け、精力的に働きかけていく。

問 公営住宅の管理状況は。

町長 建設は、昭和29年から断続的に行なっており、現在は91戸を管理している。老朽化も進んでいる住宅も有るが、緊急性の高いところから整備を行なうと共に、制度事業等が有れば直ぐに手を挙げられるよう準備を進めている。

「農林業振興対策は」

これから先 甲斐 喜夫
どうなる!
どうする!



高齢により委託された栗園

問 今日まで、里山開発が積極的に展開され、地域経済の柱として大きく貢献しているが今後、後継者不足、高齢化等により廃園、規模縮小等の問題が多発しているがその支援策なり、手立てはどうか。

町長 昭和32年果樹振興計画策定、昭和61年には選定班を組織、平成12年には収穫ネット事業等、全国に先がけて普及推進並びに生産技術はもとより「高千穂ひのかげくり」というブランド名で産地化。またユズ、カボスについても約30ha、年間200トンの栽培。今後、更なる高齢化により厳しい生産状況が予測されることから、経営基盤強化促進法に基づき、利用権設定や農地法第3条の賃貸を斡旋し、作業受託組織等についても関係機関と十分な検討を行ない、支援体制の充実を図りたいと考えている。



土砂詰まりの側溝

「防災対策は」

災害に強い町づくり・村づくり！

問 大丈夫かな、排水路等の整備と清掃、更には点検は。

町長 排水路の整備、側溝、横断溝、排水溝等施設整備については、各種制度事業等で実施。

清掃については、道路愛護デーの一環としての清掃・側溝清掃は、地元の協力をいただいている。困難な作業は、建設業者等に依頼。

今後、排水路等の施設整備については、緊急性のあるところから、随時計画的に制度事業なり単独事業で整備。排水路の清掃等については、地元の協力、困難な場所については、町内の建設業者に依頼し、維持管理をしてまいります。

「有害鳥獣対策を問う」

坂本和雄



設置された金網柵

問 平成23年度は、新たに鳥獣捕獲員を増員され、駆除、捕獲に取り組みされているが、成果と被害状況の推移は。

町長 平成23年度から捕獲員4名体制で取り組んでおり、22年度に比較すると、鹿96頭、猪37頭多く捕獲している。

被害の状況推移は、平成19年度11、207千円であったが、逐年増加し、22年度は15、930千円である。捕獲頭数に反比例して被害

が増大しているのは、捕獲を上回る繁殖が予測され、被害の減少に追いつかないのが現状である。

問 有害鳥獣の捕獲、駆除には各地の駆除班、猟友会の協力は欠くことの出来ない戦力だが、さらに成果を上げる為、現在の捕獲単価(8,000円→9,000円)を引き上げるべきではないか。

町長 現在予算策定の段階であり、財政的なことも考慮しながら考えていきたい。

「TPPと本町農林業生産の基盤整備を問う」

問 TPP問題については、国論を二分した論争が行なわれているさ中、総理は交渉に参加する方針を表明された。

新たな展開が予測されるが、中長期を展望した本町農林業生産基盤等の整備は。

町長 大変遺憾に思っている。本町における畜産、水稻経営に及ぼす生産額の減少は、3億9千5百万円、また、国土保全等、農業の多面的機能の喪失による影響額も、8億6千万円程度が見込まれ、中山間地は耕作地放棄が増え、今以上に野生動物の被害が増大して来る事も懸念される。中長期を展望した生産基盤の整備については、担い手の育成による受託作業の推進、集落営農の確立等、地域の特性を活かした農業の生産性を高めることにより、本町農林業の生産基盤の整備につなげてい。

「住宅・農地保全対策は」

杉本道生

問 今回の国勢調査で本町が県内自治体で人口減少率最高を記録したが、その分析は。

町長 少子高齢化が著しく毎年約55名の自然減少、転入転出の社会減少が毎年約58名で年間約113名減少している。

問 この人口減少には、農林商工業の低迷、雇用の場の減少、後継者不足、花嫁

対策等考えられるが、住宅対策もその一因ではないかと考える。

23年度の住宅団地用地調査の進捗状況、今後の計画は。

町長 国道218号線沿いの7ヶ所を拾い出し比較をしてきた。最終的に2ヶ所に絞り用地取得に取り組む。規模は、3,000㎡〜5,000㎡程度である。

用地取得が可能であれば公的賃貸住宅、民間型等で進める計画である。

問 人口減少対策として9月補正で日之影町移住定住奨励金が計上されたが要綱の内容は。

町長 9月議会で承認されたが内容は、Uターンを除く、I・Jターンの町外者が対象である。永住の意思をもって転入し、個人住宅を購入または賃貸、あるいは新築し居住する者である。必要な経費として30万円を交付する。

問 TPPの行方に重大な関心を持っている。経済的損失はもとより、農地保全の観点からも危惧される。今後の対応対策は。

町長 農地の保全については、TPPも含め日本たばこ産(株)の廃作募集による町内での影響を大変危惧している。今後の対応として「西臼杵葉たばこ構造改革支援緊急プロジェクトチーム」を設置し、経営転換の支援や、農地の有効活用等を関係機関等と連携を図り、栽培を継続する農家共々生産振興を推進していく。

「平成24年度予算は」

福田裕生



老朽化した独身寮

予算規模については、総額を44億円以内としたところである。

問 町単独事業「新規のもの、プレミアム商品券」については。

町長 関係各課で十分研究及び協議を行ない、新規の町単独事業及び既存の単独事業についても見直し等を含め、今後、要求の中で十分検討を行ない決定していく。プレミアム商品券については、町内商店会の活性化のため、24年度も継続を考えている。

問 独身寮の今後の考えは。

町長 駐車場は無く、日照時間も少ない上に、湿気も多い。今後については、2・3階を取り壊し、地下倉庫を備えた駐車場として利用する方向で検討していく。



残したい棚田

議会への要望

宮水公民館から「国道218号線より西宮水の入口道路改良と交通安全対策及び仲畑住宅の生活環境整備並びに住宅・山林の防火対策」の要望が提出されました。

議会にご案内を頂き有り難うございました。

各集落から

- ◆ 深角団七まつり
- ◆ 大人歌舞伎
- ◆ 見立紅葉まつり
- ◆ 松の木地区収穫祭
- ◆ 阿下いきいき集落祭
- ◆ 椎谷地区農林フェスタ
- ◆ 夜神楽等



阿下いきいき集落祭

議会のうごき

(平成23年10月～平成24年1月)

- | | | |
|---------------------------------|--|-----------------------------|
| 10月16日(日) TPP交渉参加反対みやざき県民集会(宮崎) | 12月12日(土) 建設業協会創立60周年及び組合創立20周年記念式典(高千穂) | 6日(火) 平成23年第4回定例会(開会) |
| 18日(火) 西臼杵郡衛生組合火葬場視察研修(日向市・福岡市) | 13日(日) 見立深谷紅葉まつり(高千穂) | 8日(木) 平成23年第4回定例会(一般質問) |
| 21日(金) 日之影町音楽祭(宮水小学校) | 14日(月) 全国議長大会(東京・仙台) | 10日(土) 大菅神社大祭夜神楽 |
| 22日(土) ひのかけ深谷まつり2011 | 20日(日) 第12回福祉まつり第5回松の木地区秋の収穫祭 | 13日(火) 平成23年第4回定例会(閉会) |
| 25日(火) 森林・林業・林産業活性化九州大会(宮崎) | 22日(火) 議会運営委員会及び全員協議会 | 17日(土) 大楠神社大祭 |
| 26日(水) 第5回全国水源の里シンポジウム(佐伯) | 第11回九州中央自動車道建設促進大会(延岡) | 18日(日) サンプルム「福寿想」祝賀会 |
| 27日(木) 監査委員ブロック別研修会(美郷町) | 西臼杵郡林業活性化促進議員連盟役員会 | 20日(火) 国道325号河内バイパス開通式(高千穂) |
| 29日(土) 東九州自動車道建設促進大会(延岡市) | 23日(水) 阿下公民館「第1回いきいき集落祭」 | 22日(木) 西臼杵郡議長会定例会(五ヶ瀬町) |
| 31日(月) 宮崎県北部広域行政事務組合議会(延岡市) | 24日(木) 西臼杵郡衛生組合議会(14:00) | イルミネーション祭り(七折中央) |
| 11月4日(金) 西臼杵郡議員研修会(五ヶ瀬町) | 26日(土) 鹿川神社冬季大祭新畑神社秋の大祭 | 28日(水) 議会報編集委員会ご用納め式 |
| 5日(土) 日向市制施行60周年記念式典(日向市) | 28日(月) 平成23年第2回臨時議会 | 1月4日(水) 第62回日之影町成人式 |
| 6日(日) 郡民総スポーツ祭開会式(高千穂町) | 議会広報研修会(宮崎) | 2012年日之影町新春賀詞交歓会 |
| 7日(月) 椎谷地区農林フェスタ | 30日(水) 県町村議会議長会役員会・監事合同会(川南町) | 5日(木) 消防始式 |
| 7日(月) 経済建設常任委員会所管事務調査(福岡・佐賀) | 12月2日(金) 議会運営委員会及び全員協議会 | 8日(日) 第2回宮崎県市町村対抗伝大会開会式(宮崎) |
| 10日(木) 幹部議員研修会(宮崎) | 3日(土) 楠原公民館秋の大祭 | 9日(月) 第2回宮崎県市町村対抗伝大会(宮崎) |

編集後記

あけましておめでとう
ございます。

新年を迎え、昨年をふりかえると、東日本大震災が発生し、未曾有の大惨事となりました。今後は国を挙げての復興支援と国民が絆を大切にして手をたずさえあつて、サポートして行かねばならないと思います。

本町においても昨年は、4月から5月にかけて雨不足、地域によつては飲料水も危うしといった地区もあつたようでございます。

また、一時期においては長雨で果樹・水稻等には悪影響、さらには大雨の影響で農地・道路等に災害をこうむつた地区もあり、早急に復旧が望まれます。新春を迎えるにあたり、今年こそはよい年でありますように町民一人ひとりの幸福を願いたいものです。

Y・K